

令和8年度  
教科名等

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
人間と社会	1	A B C D E F	1	必履修	39 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	「人間と社会」改訂版教科書 東京都教育委員会
使用教材等	「人間と社会」改訂版教科書 東京都教育委員会、教科「人間と社会」ワークブック

科目の目標

学習目標	<p>【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。</p>
------	--

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	社会課題の解決に向けて、グループで選んだ社会課題について広く調べるとともに、様々なデータを分析して現状や傾向を把握する。課題を解決するための行動を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究分野について広く知る。</li> <li>広く調べる対象を決める。</li> <li>リサーチクエスチョンを決める。</li> <li>仮説を立てる。</li> <li>発表を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで協力し、調査活動を、目的や対象に応じた適切さで、正確かつ安定的に実施することができている。</li> <li>課題の解決に必要な情報を、目的に応じた手段を選択して収集し、類別して蓄積することができている。</li> <li>自分の意思で課題に向き合い、自他のよさを認めながら、協働的に課題を解決しようとしている。</li> </ul>
2	グループで選んだ社会課題について、仮説を立て、具体的な行動を考える。課題解決につながる行動(イベント)の計画を立案し、準備・実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決につながる行動(イベント)を立案する。</li> <li>課題解決につながる行動(イベント)を準備・実施する。</li> <li>課題解決につながる行動(イベント)について報告会を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査活動を、目的や対象に応じた適切さで、正確かつ安定的に実施することができている。</li> <li>課題の解決に必要な情報を、目的に応じた手段を選択して収集し、類別して蓄積することができている。</li> <li>自分の意思で課題に向き合い、自他のよさを認めながら、協働的に課題を解決しようとしている。</li> </ul>
3	自己の生活や周辺の事象における課題を解決することを通して、客観的・科学的な視点で理解するとともに、統計的な分析や観察・実験から得られたデータを基に考え、これからの探究活動を見通したり自分の生活に生かしたりすることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の探究のテーマを探る。</li> <li>自己の探究テーマを探るための手法について学ぶ。</li> <li>自己の探究テーマについて発表準備を行い、発表を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。</li> <li>実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。</li> <li>探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。</li> </ul>

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。